

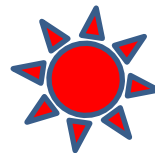


もり 森林の風

森林施業 認定 NPO 法人
森林の風
会長 瀧口 邦夫
平成 27 年 9 月発行

第 24 号

だより



森林の風は三重県より
鈴鹿国定公園における生態系維持回復事業の実施団体として認定されています。
主にシカの食害にあっている希少種の保護にあたっています。

森林施業 認定 NPO 法人



連絡先 / 〒512-0933 三重県四日市市三滝台 4 丁目 15-7 TEL 059-321-7719 携帯電話 090-9663-4088

<http://www.morinokaze.info>

*詳しくは、ホームページまたは上記までお問い合わせください。

報告 Report 2015 まちのきこり人レベルアップ研修会 第1～3回
学 ぶ
教える
考える
第1回
6/7
宮川森林組合
岡本 宏之氏


第1回研修会のテーマは「広葉樹の森づくり」、宮川森林組合の岡本宏之氏を講師に迎えての開催となり、19名が受講しました。

まずご案内したまなびの森のフィールドでは、竹ポットによる苗木の栽培について早速アドバイスをいただきました。ポット苗に発生する根の巻き込み防止のために、竹ポットの側面に光を入れる穴をいくつかあけると側根の成長を止められるそうです。また、平地で樹木を育成する場合には、人工的に遷移の状況をつくり、水の移動を考慮した高低差を設けることがポイントであり、その場合盛土が有効であることなど、実際に役に立つ情報でした。

講座会場へ移動してからの座学では、森づくりの現状、理論と技術、森林立地調査、そこから将来の成林像を描き逆算した森づくりをすることなどの重要性について、基礎用語と併せて学びました。

～「広葉樹の森づくり」の主なポイント～

(1) 森づくりを考える場合、林地の目的が何であるかをよく考えなければならない。

次の時代の森づくりには、20世紀のモノづくりの反省に立ち、人間の都合を優先した単純一様の森づくりから、自然の制約に合わせた多種多様な森づくりを考える必要がある。この場合、世間でよく言われている「自然のために木を植える」では森づくりは成功しない。社会のニーズをとらえた「人のくらしのために植える」ことが必須の要件。

(2) 森づくりを考えるときの重要な要素

- ・土目、石目、岩目、粘土目による樹木の棲み分け、土壌は郷土、中心郷土であるか。

- ・ 残積土と崩積土では育つ樹種が異なるため、それぞれの違いや性質をよく理解し、適地適木で樹種を選定する。
- ・ 森が受ける太陽光の南向き傾斜か北向き傾斜かは地面に温度差を生み樹木に影響する。
- ・ 森の階層構造を考えるとときには、森の成長順を考えた配植設計が必要。樹高階層分布や樹冠面積の両方を調査し、森の最終形から逆算して設計する。先駆種の使い方や遷移中後期の樹種を選択することがポイント。また、草本、低木類、昆虫の生態は森林に影響する重要な要素である。

広葉樹の森づくりの解説の後には、宮川森林組合における実際の取り組みであるパッチディフェンス、10年がかりの徹底的な調査と新しいビジネスモデルなど、実例を交えて解説いただきました。

講座では難しい専門用語が多数登場しましたが、岡本講師の興味深い解説によって理解も深まり、あっという間の1日でした。 【佐野】



第2回

7/25



岐阜県立森林文化アカデミー
横井秀一氏



～里山の施業計画は調査活動から～

第2回は、まず樹木・森林の正しい知識を知って森林に入ること、対象となる森林における「目的」と「具体的な目標」を立てた「施業」の大切さについて講義があった。その後、実際に森に出て多くの貴重なアドバイスを頂いた。



～みえ県民の森を歩く～

・「ささやきの小道」周辺の場合

植樹祭当時植えられたと思われる樹種が大きく生長している。「目的」は訪れる人を癒す景観か「郷土の森」としての種の保存・見本機能か？今後の検討が待たれる。植生調査方法としては環境条件、出現種、階層、植被率、占有種などで現状を把握、場合によって特にプロットせず一定の範囲で～%くらいと判断してもよい。

・「生産の森」の場合

「目的」は一般の人に人工林の役割を伝えるためのものだから、小道沿いにはより丁寧な説明看板があるとよい。また、見本林として、間伐強度を変えて暗い森・明るい森、下層植生の豊かな森そうでない森など、県民が学べる森づくりもよい。

森づくりの技術はチェンソーで木を伐るだけではありません。目指せ森づくりのセミプロ！第1回に引き続き第2回は森林調査に基づいた施業計画を立てることについて実際に森を歩いて学びました。

そして第3回は森林環境教育。「伝えるプロ」をお招きし技術を伝授していただきました。企業や地域との協働が増えるなか会員が理解するだけでなく「参加者にいかに伝えるか」が重要となってきています。秋から目白押しのイベントにさっそく活かされます。

第3回

8/1・2



キープ協会
若林正浩氏



～see と look～

普段感じていないことに意識を向け、見えるものを通じて見えないものを伝えよう。

自然体験の際、その地域・場所の持つ特性「フィールドポテンシャル」に合ったプログラムを実施することでより体験が深まる。また、物事の一部だけや知識・情報の伝達だけではなく、全体像を見せ、いろいろの技能を組み合わせる全人格に訴えるような「インタープリテーション」を行えるのが理想。

～体験学習プログラム～

主に3つの形があり、森林の風としては参加者と

のコミュニケーションを通じて体験を進めていく「やり取り型」の実践からとなりそうだ。

プログラムは、「つかみ」で参加者をプログラムへ引き込み、「本体」の中心となる活動で感じ考え創る作業をし、「まとめ」で振り返り分かち合う、という構成が基本である。参加者が体験を思い出しながら「振り返り」をすることは「なんのためにプログラムを実施するのか」に直結する重要な点である。また、体験学習の実施後、実施者が体験の様子や起きたことを振り返りフィードバックすることも重要である。



2015年10月以降の予定

暑い夏が終わり林業の季節です。2015年度も半年が過ぎ忙しくなってきました。水源の森を守り、環境保全を進める重要な時節となっています。

《企業の森》

10社と契約している「企業の森」秋のイベント活動は、9月12日を皮きりに11月29日まで順次開催です。各社アプローチは様々ですが、森林環境保全への思いは同じです。森林を若がえらせるための、植林、間伐、除伐、などの作業が進むと同時に、従業員やその家族の方に理解、体験していただく機会となっています。

《森林教室》

秋以降、亀山市主催の森林教室、まちのきこり人育成講座があります。亀山市在住・勤務の方は是非ご参加ください。詳しくは亀山市環境産業部森林・林業室にお問い合わせください。

	亀山市森林教室（幼児・児童対象）		～めざせ！森の名手～ 亀山市まちのきこり人育成講座	
第1回	—	終了	10/4(日)	座学、枝打ち、のこぎり間伐
第2回	12/13(日)	ノコギリ間伐／菌打ち	10/11(日)	座学、チェーンソーのメンテナンスと取扱い
第3回	2/7(日)	竹ポット作り／ハイキング	10/12(祝)	座学、チェーンソー間伐等

場所：亀山森林公園「やまびこ」

《2015 まちのきこり人レベルアップ研修会》

今年度も第3回まで終了しましたが、森林の風活動のレベルアップを図るために研修会を開催しています。第4回・5回は、今年度で3度目の登場となる奈良県黒滝村森林組合の梶谷氏、2度目の長野県伊那市KOA森林塾の川島氏にお願いしました。

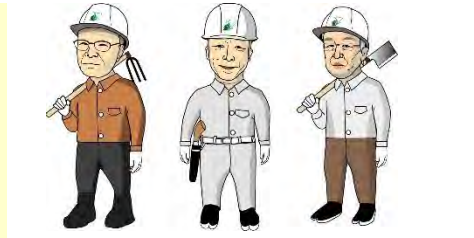
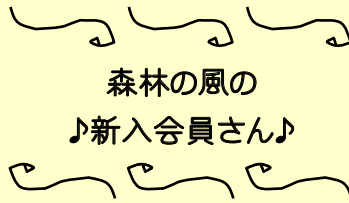
間伐材の有効活用を進めるための伐倒方法、造材、搬出がテーマです。森林の風の活動をより安全に活発に展開できるような内容、ということでお願いしています。12月1月の日程で準備中です。



《まちのきこり人育成講座 2016 受付始まる》

11年目の「まちのきこり人育成講座」受講募集の開始です。森林保全活動を基礎から学びましょう。労働安全衛生法に準じた伐木安全講習会修了証の発行もします。

続々 デビュー



大橋さん

菰野町で生まれ、菰野富士や御在所岳の自然の中で遊んで育ちました。母の実家が新潟県の山の中だったため(最寄りのバス停まで歩いて60分!)、裏山の杉檜の中を走り回っていました。

そんな生活から打って変わって、現在、コンピュータでのシステム開発を仕事にしており、就職して以来山へ行くのは年に数回、スキーに出かけるか山登りかという状況で、自然からはかなり離れた生活をしていました。

現在は亀山在住で、地元の広報誌にあるまちのきこり人育成講座がきっかけで森林の風を知ることとなりました。

はじめは子供のころの記憶を思い出し、また仕事でのテクノストレスに疲れており、少しでも山とふれあっていたいなあ、という気持ちで参加しましたが、今は山で育てられた恩返しをしたいと考えています。まだまだ若輩者ですが、どうぞよろしく願いいたします。



土原さん

出身は岐阜県です。私が森林の風を知ったのは、昨年9月に行われた亀山市のまちのきこり人育成講座に参加したのがきっかけです。

林業に係る知識は全く無く、講座で聞く話はどれも新鮮でとても興味を持ち、もっと知識を広げたいと思い入会しました。

森での施業は、日々の運動不足で大変なことも多々ありますが、会の先輩方々に近付けるよう知識や技術を身に付け、森林を少しでも良い状態で後世へ残す手伝いが出来ればと思っています。



八木さん

愛知県愛西市出身です。今年で38歳になります。

森林の風を知ったのは、四日市市の森を測る講習会の時です。その後多度山で山登りをしていた時に、偶然森林の風が活動しているのを見て興味が湧き、会の活動に参加させてもらうようになりました。

入会のきっかけは、ブレンディーの森で作業をした時、暑くて大変でしたが会の皆さんと一緒に汗をかき夢中で作業をして、雑談して笑いながら食べた昼食が、私にはとても新鮮で楽しく感じ、それがきっかけで入会させて頂きました。

私は体を動かす作業が一番好きなのですが、(それしかできないだけ)企業の森のイベントも好きです。最初の頃は初めて会った方々を引率して作業道や間伐作業を指示するなんて自分にできるのか?とっていました。でも始めてみたら社員の方達は、真剣に作業されて私の指示にも耳を傾けて下さいました。休憩時間にも色々な話をして楽しく1日を過ごせました。それ以来出席できるイベントは楽しく参加させて頂いています。

まだ会員としての知識と経験が足りませんが、これからの活動も安全に楽しく参加出来る様にしたいと思います。会員の皆さんこれからもご指導宜しく願い致します。



森を守り育てる活動にご協力ください

賛助会員のご案内



認定 NPO 法人森林の風は、放置され荒れた森林を整備するため 2005 年に設立されました。「参加し、共に汗を流し、対話すること」「準備 8 割」を合言葉に活動を進めています。林業および森林・自然環境保全を進める企業・団体をはじめ多くの方々に信頼とご協力、活動の支援をいただいています。

活動継続、新たな活動のために、現在賛助会員の方は来年度もぜひ引き続きご賛助ください。また、当法人の理念や活動内容に共感頂ける新規賛助会員も広く募集しております。ご協力よろしくお願いいたします。

年会費	個人 1 口 3,000 円 / 法人 1 口 10,000 円 より
特典	年 3 回発行の機関紙「森林の風だより」や各種案内を送付させていただきます

御在所岳頂上植樹<“5500本 GOGO 植樹”プロジェクト>のご案内

三重県北部にある標高 1200m の名峰・御在所岳は、モミジ、ミズナラ、シロモジ、ツツジ類などの新緑や紅葉、花が美しく、四季を通じて親しみ楽しまれてきました。しかし近年は、山頂付近にはずのカモシカが麓に追いやられるほどシカが増加し、シカが樹皮を剥いで木が枯死する大きな被害が出ています。

森林の風では 2010 年より、国定公園内である現地において、三重県の許可を得て採取した種子や苗を育て植樹活動を行っています。それには多くの時間と費用が必要です。この活動は企業及び個人の皆様のご寄付によって成り立っています。

苗木の育成・植樹費用として 1 口 3,000 円より寄付を募集しております。

ご協力よろしくお願いいたします。



寄付の方法

賛助会員・植樹寄付ともに、郵便振込によるご送金にて受け付けております。今号に同封しております用紙でお振込みいただきますと、手数料のご負担をいただかないで済みます。

◆森林の風の払込票をご利用の場合

◆最寄りの郵便局からお振込みの場合

加入者名：特定非営利活動法人 森林の風
郵便振込：00830-4-159060

おところ、おなまえ、ご連絡先電話番号と、よろしければメールアドレスをご記入ください。通信欄には「賛助会員」か「植樹寄付」かの希望をお書き添えください。